



同窓会だより

江戸川総合人生大学同窓会
令和3年1月7日発行 第42号
<https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>



江戸川総合人生大学同窓会 第14回総会

第14回総会が10月27日(火)15:00から江戸川区総合文化センター研修室において、コロナ禍の中最大の注意を払いながら開催されました。

第一部では、江戸川総合人生大学学長の北野 大先生の講演「安全・安心な社会を目指して」がありました。講演の中で学長の「安全とは理性で安心とは感性で」のお話が、私達のこれからの人生をどう生きたいか、またコロナ禍の生活についても色々と感じさせられるお話に大変感激いたしました。



北野学長

第二部の総会では、会場のリアル出席者74名、zoomでのリモート出席者12名、合計86名の会員が出席し前田会長の挨拶、来賓紹介のあと議長に高橋氏が選出され、書記に川島・黒田両氏が任命されました。

議案書に基づき、第13期の活動、会計、会計監査報告のあと、一括審議がなされ、拍手多数で可決・承認されました。引き続き第14期の役員承認(案)、会計監査選任(案)について拍手多数で可決・承認されました。さらに第14期の活動方針(案)並びに予算(案)についても審議がなされ、原案通り拍手多数で可決・承認されました。議長の解任と書記の退席、退任役員紹介挨拶のあと、寺本副会長の挨拶で総会は終了しました。

～詳細は「同窓会ホームページ」をご覧ください。たくさんの写真も掲載しています。～



前田会長



来賓の皆様



高橋議長



寺本副会長

総会終了後、本来ならばお楽しみイベントや先輩・後輩、同級生達との楽しい懇談会で盛り上がる会でしたが、コロナ禍の中でやむなく中止となりました。総会が開催できた事に感謝し、「楽しみは来年にと」全員でお互い挨拶を交わし終了しました。



第14期 同窓会の活動方針について

「新たなる希望 (A NEW HOPE)」に向かって」—

会長 前田 直義



同窓会の新しい期、第14期がスタートしました。昨13期は突然のコロナ禍で殆どの行事がストップしてしまい、同窓会にとってもこれまで経験したことの無い、残念な一年になってしまいました。

今期は、引き続き感染防止には最大限の注意を払いつつも、新たな活動を皆様に提案していきたいと思います。会員の皆様も不安を抱えつつ、さまざまな思いで日々を過ごされている方が多いと思います。しかしながら、不安があるからといって、

引きこもってばかりでは知力・体力とも弱まり、結果として健康に良くありません。



このような時こそ重要なのが、人と人との結びつき・絆を活かしたコミュニケーションです。その一つとして、私たち江戸川総合人生大学同窓会の仲間との結びつきを今こそ役立ててほしいと思います。同窓会では今期、感染

防止には十分注意したうえで、次のような方針に沿った活動を「**新たなる希望(A NEW HOPE)を目指して**」行っていきます。皆様の参加をお待ちしています。

1. 新たな楽しみの共有：「新しい生活様式」に配慮した新たな活動・新たなイベント開催
2. Innovation（未来に向けた同窓会の改革）とImprovement（改善）：より良い同窓会を目指す改革と改善

（詳しくはすでにお送りした、「第14回同窓会総会議案書」をご覧ください。）



第14期 各組織の活動について

《総務部会》

第14期総務部会は、副会長2名を含む10名のメンバーでスタートしました。総務部会は、会長の目指す活動方針が達成されるよう、同窓会活動の円滑な推進のための支援をしていくことが仕事です。今期は、従前とは違った状況下で、様々な面への配慮や工夫が必須です。これらを常に念頭に置き活動推進に努めます。

総務部会の仕事は、会員名簿の管理・文書管理、総会・クラス幹事会の開催、発送文書の作成、準備等々多岐に亘ります。これらを部会員の総力を結集し、「縁の下の力持ち」としてその役割を果たしていきたいと思います。

総務部会長 大塚 恭子

《活動部会》

活動部会の第13期は、コロナ禍により、年度活動計画を残念ながら自粛せざるを得ませんでした。第14期もコロナの終息は見られず、ウィズコロナでの活動を迫られる状況にあります。そんな中で、スタートに、活動部会の一つのイベントである“大人の社会見学バスツアー”に替えて、三密とならない“えどがわ探訪まち歩き”を、3月、4月に実施できるように、企画、調査に取り組んでいます。活動部会は、同窓会の皆様が、安全で、安心で、健康的で、そして喜んでいただける様な行事を提案したいと考えています。

活動部会一丸となって進めていきますので、よろしくお願い致します。

活動部会長 寺崎 茂夫

《広報部会》

「同窓会だより」4回発行の予定です。同窓会の運営・行事の他にも、同窓生の献身的なボランティア活動、趣味や特技を生かしたクラブ活動の様子を引き続き掲載します。

ホームページは速報で掲載出来ますが、紙面の便りも持ち味があると思います。広報部は紙面づくりで各部・各委員会に取材を致しますが、取材依頼と新紙面の提案もお願いします。

同窓生が多面で活躍している姿を知らせる「同窓会だより」。取材・撮影・編集・発行に一同頑張ります。

広報部会長 大内 貞雄

《ホームページ運営委員会》

広報部会のホームページ運営委員会では、4月より委員会をオンライン開催に切り替えて運営しています。コロナ禍にある同窓会の活動を迅速に皆さまにお伝えするべく、「同窓会だより号外」や初めてのリアル+zoom リモートによるミックス形式でのクラス幹事会の様子などを掲載してきました。

今期においても引き続きコロナ対策は必要になると予想され、広報部会本体と連携して相互に意見を出し合い、切磋琢磨しながらより良い情報を皆さまにお伝えしていきます。

ホームページ運営委員会委員長 品田 正子

《人大ボランティア連絡会》

ボラ連世話人会では、第13期については勢いよくスタートダッシュをかけたものの2月以降コロナ禍による活動自粛のため極めて限定的な活動しかできず、不本意な1年となりました。

第14期については、コロナ禍は続くものの同窓会の活動方針の1項「新しい生活様式に配慮した新たな活動を展望する」を基本とし、我々の基本的な使命である「活動グループのサポート」を従来の形・やり方にこだわる事なくその趣旨を実現するという事を肝に銘じて活動して行きます。関係各所との協調や連携をこれまで以上に深め、世話人会としての役割を果たして行きます。

人大ボラ連世話人会代表 門田 信雄

《クラブ活動事務局》

同窓会クラブ活動はクラスや学科の枠を越えて同じ趣味を共有できる新しい仲間との出会いの場として現在13のクラブが登録されています。コロナ禍でクラブ活動の自粛や制限等を考慮しながらの環境下ですが、「新しい生活様式」に基づき三密を回避し知恵と創意工夫しながら感染リスク軽減を図る活動を模索して行きたいと思っております。事務局はクラブと会員をつなぐお手伝いをします。クラブ新設に関する部員募集や広報活動等についてサポートをさせていただきますのでご相談ください。

クラブ活動事務局長 山本 章



役員および代表者の全員写真

(マスクは全員シャッターの時だけ一瞬はずしました)



クラス幹事会の様子

毎月1回開催され、前半は各部会に分かれての話し合い、後半は役員会や各部会の報告、大学事務局からの連絡などが行われます。



学長講演感想文 「私も卒業生！」

広報部 高津陽子（子育て6期・まち14期）

なんと、新しくなった「広報えどがわ」10月15日号の表紙は、学長の北野 大さん。「共生はお互いさま！」と題して書かれていますね。内容も面白く、興味深く読ませていただきました。

私が以前（30年前かなー？）勤めていた小松川第二小学校の校長先生が北野 武さんの担任をしていた藤崎先生。ドラマでも実名で出ていましたね。テレビ局がその藤崎校長先生に取材に何回か来ていたのを覚えています。北野一家もユニークだったようですが、その一家とも深く関わっていた当時の熱血青年教師も面白くドラマでは、描かれていました。

破天荒な武さんとは、真逆の丸坊主で、勉強一筋のお兄さんが大さん。ドラマで見ていた人が、身近に私たちの目の前にいるのですから、驚き👁!!でした。また視聴率の高かった「クイズダービー」にもレギュラー出演していましたね。あっ！そうそう💡、ご講演の感想です「安全・安心な社会を目指して」の事ですが

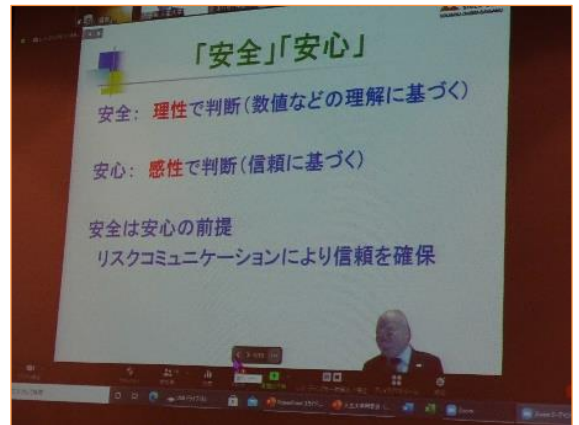
安全：理性で判断するもの 安心：感性で判断(信頼に基づく)

☆安全は、安心の前提という話から始まって約一時間。最後のまとめは、思いやり、感謝の気持ちテーマで

共生の心 ①自然との共生 ②人との共生 ーおかげさま、お互い様の心ー

③感謝の心 ーいただきます、黙喰

人生大学に入り、北野学長を始め、いろいろな方との出会いに感謝です。



「安全・安心」を熱く語る北野学長

《広報部会長退任あいさつ》

広報部員4年、広報部会長3年務めてきました、毎会同窓会だよりの発行には苦勞しましたが、出来上がるとうれしくて、インクの匂いと達成感の醍醐味を味わってきました。これも同窓会仲間の皆さんのおかげです。ありがとうございました。今後も同窓会だよりの愛読をよろしく願いいたします。

前広報部会長 山内 康

《編集後記》

10月27日開催の同窓会総会に基づき14期の活動が開始されました。コロナの影響が続く中、各専門部会でこの先どの様に活動するか、悩みながらの抱負を書きました。新しい「楽しみ」の取り組みを通じて、同窓会の絆を伝える「同窓会だより」の役割を果たしたいと感じます。

広報部会長 大内 貞雄

《第14期広報部会》

宇佐見かつ子（国8）、大内貞雄（まち12）、加藤道雄（まち11）、衣川章嗣（まち9）、黒田健司（国13）、高津陽子（まち14）、松浦松子（介12）

「同窓会だより」は皆さんの会費で作っています。